提案書要約

1 事業名

次世代回収ボックスの製造及び設置による廃油リサイクルバイオ燃料創出事業推進

2 応募者名

株式会社アイネックス

3 内 容

<u>(1)目的・位置づけ</u>

|株式会社アイネックスは"Live with the Earth"をVisionに掲げ、祖業である建築業・不動産業だけでなく、2025年より本格的に環境事業 を開始している企業となります。

|本件については、当社環境事業の一環として、家庭で発生する使用済み食用油の焼却処理を減らし、GHG排出削減とカーボンニュート |ラルの実現に寄与するとともに、回収の仕組みを整備することで、市民が参加しやすい資源循環モデルの構築を目指すものとなります。

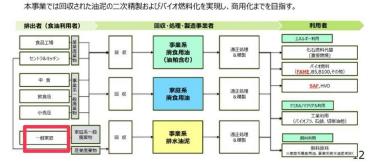
背景 廃食用油の回収ポテンシャル

廃食用油は、"食料安全保障"と"エネルギー安全保障"の両面で重要 昨今の世界的に高まる航空業界の再生燃料SAFをはじめとして廃食用油をエネルギー等の利用需要に対して、 既存の"事業系"廃食用油を回すことなく、未回収の"家庭系"廃食用油を掘り起こすことで、食料・エネルギー両面

廃食用油											
40万t/年	10万t/年 (内回収済は4%)	35万t/年 (未回収)									
外食店舗や食品工場から排出される "事業系"廃食用油	家庭から排出される "家庭系"廃食用油	事業者から排出される、 "事業系"排水油泥									
"事業系"廃食用油を約40万t/年のう ち、30万t/年は国内の畜産に必要な 飼育原料として、 <mark>国内の畜産業界</mark> を支 えている	飼料安全法により、家庭由来の廃食 用油は飼料用油脂原料として認められ ず、SAF等の需要が高まる昨今まで 行き先がなかった	下水の詰り、劣化、異臭原因となり、 物理的、化学的に処理されている一方 、EUではブラウングリースからSAFの 精製まで進んでいる									
日本国内の食料自給率38%と低く、 貴重なカロリー源の飼料として重要な 役割を果たしている	"家庭系"廃食用油はほぼ未回収であり、国内で4%程度しか回収できていないと考えられている	埋蔵量含めて全く未解明であるもの の、想定規模感としては事業系廃食 用油に匹敵すると考えれている									

本事業のスコープ

事業系排水油泥を適正処理された再生油脂製造から販売まで



(2) 実施内容

|実施期間:2025年9月1日~2026年2月28日

実施場所:東京都内

実施内容:

- ・再生エネルギー政策の一環として、IoT連携の次世代型廃油回収ボックスを製造し、都内小売店等に設置。誰でも気軽に廃食用油を持 ち込める仕組みを整えることで、家庭からの回収を行う。
- ・QR認証開閉・満量時の自動ロック・センサー搭載・遠隔監視・ポイント還元などの機能を搭載。安全性・利便性・運用効率を重視し た設計により持続可能な回収を実現。
- ・廃食用油を空運や陸運等で活用されるバイオ燃料にリサイクルし、有効活用を図る。

①ご自宅でご使用になられた廃食用油(てんぶら油等)を冷ましてください ②使用済みペットボトルや油ボトルに注ぎ入れてフタをしっかりと閉めてください

③ご自宅近くのスーパーマーケットやコンピーエンスストアにお持ちください

④廃食用油回収BOXのディスプレイにて会員認証ください

⑤回収BOXのフタを開いて廃食用油を注いでください

(次世代回収ボックスイメージ)



- 環境チャンネルディスプレイ
- ご自宅や日常で出来る環境良行動や企業の環境への取り組み、身近な商品や
- サービスを使用する事で実は貢献していた環境情報コンテンツを配信
- ·会員認証機能
- 付帯カメラ等によるQR読み込みにて会員認証を行い、油以外の混入等の防止に
- 役立てる他、お客様へのメリット還元用として機能展開
- ・廃食用油回収量カウントによるお客様メリット還元
- リサイクルにご協力頂いたお客様へのメリット還元を、回収量を流量にてカウントする
- ⑥注ぎ終わったペットボトル等は隣のBOXのフタを開いて廃棄ください ⑦リサイクル頂いた廃食用油の量に合わせてポイントを発行します ⑧ポイントは、お買い物や商品交換としてお使いください 事でお買い物や商品交換として使えるポイントとして還元

WAON POINT

生活者への環境教育コンテンツを包括するチャンネルであり、回収BOXにてリード視聴 を促進し、youtubeにて無料閲覧が可能な環境教育チャンネル

広告ブラットフォームモデル

・回収拠点賛同企業:環境教育場の創出

・環境コンテンツ提供企業:環境教育コンテンツによる気候変動アクションの推進 ※広告収益は、拠点設置、廃食用油回収お客様、運営等にて分配

(4) 本事業において期待される効果

- ・本取組の実施によって、使用済み食用油をペットボトル等のプラスチック容器に入れて持参してもらう形とすることで、プラスチック ごみの適切な分別を促し、マテリアルリサイクルや、サーマルリサイクルへの活用を推進することが可能。
- ・現状ではほとんどがワンウェイとなっている廃油容器についても、リサイクル素材製の容器を導入する、あるいは回収インセンティブ を付与したリユース容器制度を設けるなど、使い捨て容器からの脱却を見据えた設計が可能である。こうした「仕組み化」を進めること で、プラスチックの3Rにも波及させ、資源循環の包括的な促進が期待できる。
- ・さらに、調理・食品ロス意識の変化、環境教育効果など多面的な効果も考えられる。

<u>(5)実施体制と各社役割</u>

プロジェクト実施者名	役割	業務の範囲						
全国油脂事業協同組合連合会	共同実施主	・廃油回収事業者調整 ・データプラットフォーム提供 ・コミュニティ運営						
株式会社アイネックス	共同実施主 廃食用油回収	・廃油回収業務・プロジェクトマネジメント・スポークスマン機能・自治体対応・新規回収スポット調整						
株式会社エコクリエイティブ	専門家コンサル	・廃油回収施策の企画、推進 ・データ分析、可視化						

株式会社アイネックス

全国油脂事業協同組合連合会

株式会社エコクリエイティブ

(6) 本事業の実施スケジュール

		9月		10月			11月		12月		1月			2月				
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
企画・関係先との調整	•	•				•									•			
回収BOX発注		•																
広報物準備		•	•															
大手GMS・SM協業先の確定			•															
協業先との実施拠点との最終確認			•	•														
回収BOX完成および納入				•														
回収BOX設置				•	•													
廃油回収開始					•	•												
モニタリング・課題抽出						•	•	•	•	•	•	•						
追加告知・広報強化						•	•	•	•	•	•	•	•	•	•			
回収BOXの支払、追加発注検討										•	•	•	•	•	•			
事業成果物(報告書等)作成														•	•	•		
関係者・補助事業者への提出																•	•	•